

斜め写真



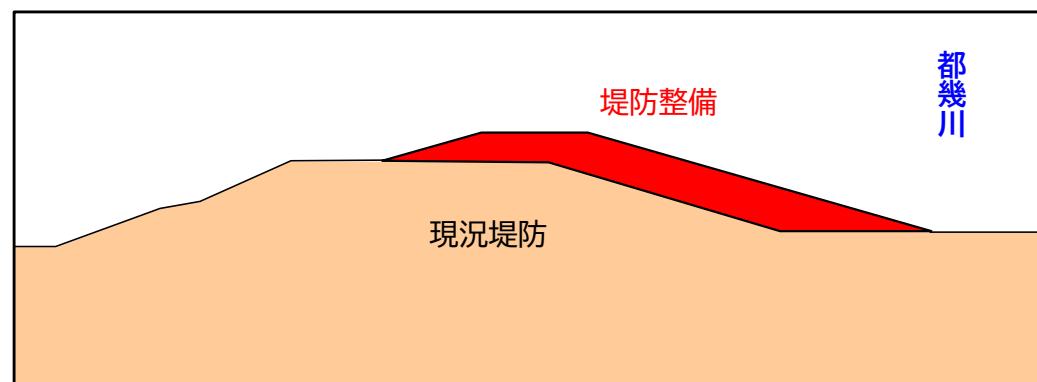
○着手:令和4年4月
○完了予定:令和5年3月末

※11月以降に施工

平面図



標準断面図



凡例
[Red Arrow] 工事範囲

工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間における堤防整備。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 上流から下流方向



写真② 下流から上流方向

主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に樹林地と堤防で構成されている。
- ・樹林地は主にクヌギやアカメヤナギが優占する落葉広葉樹林であり、ゴマキが確認されている。樹林地の林床は明るく、ショカツサイ、アケビ、ヤエムグラなどの草花が生育している。
- ・堤防はチガヤが優占する単子葉草本群落でヤブカンゾウ、ヨモギ、スギナ、カラシナなどが生育しているほか、重要種(植物)も確認されている。アゲハやヒメナガメなどの昆虫類も確認されている。
- ・堤内地側には、水田や畑が広がり、堤防民地側の堤防のり尻部分には重要種(植物)も確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
- ・施工範囲周辺のゴマキは、施工上必要な枝払い等以外行わない。